

4 1人1台端末の利活用に係る計画

(1) 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

これからの子どもたちが生きる社会は、国際化された社会であり、著しく情報化された社会のため、情報機器を日常的な道具として使いこなす知識や技能、そして情報モラルの育成を目指す。

(2) GIGA 第1期の総括

長南小学校では GIGA スクール構想以前から1人1台端末を整備しており、公立学校情報機器整備費補助金を活用し1人1台端末を整備した中学校とで、整備内容が異なり機器の性能によって小中学校での情報機器活用に差が生じていたが、令和6年度にサーバー機器や配線等の更新を小中学校一斉に実施することでネットワークの増強を行うことで、ICT 教育環境の整備が完了し、活用の推進に注力する。

(3) 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の利活用の方策として、子どもたちが情報の取捨選択やデジタルスキルを磨く環境を整備し、プログラミングや情報リテラシーを基盤とした授業や、デジタルツールを活かした創造的な学習が進むことで、子どもたちの問題解決力や発想力を育む。オンライン学習プラットフォームや協働ツールを活用し、子どもたちが時空を超えて共同で学び、情報を共有できるようなコミュニティを築き、また、情報アプリ等を活用して教育効果を評価し、調整することで、効果的な情報教育を実現する。これにより、未来の社会で必要な情報活用能力を身につけ、グローバルな競争社会に適応できる教育環境を整備する。